

令和元年度沖縄空手会館に係る指定管理者制度運用委員会 －指定管理者制度モニタリング検証結果－

1 日 時：令和元年7月23日(火) 10時00分～12時00分

2 場 所：県庁12階第2会議室

3 出席者：3人出席（定員4人）

【委員長】元沖縄県立芸術大学学長 宮城 篤正

【委員】沖縄税理士会 鈴木 啓子※欠席

【委員】公益社団法人沖縄県建築士会副会長 金城 傑

【委員】沖縄伝統空手道振興会事務局長 池宮城 政明

4 審議概要：

(1) 平成30年度モニタリング実施結果

(2) 審議の流れ：①県からモニタリング実施結果の説明及び委員からの質疑応答

②県に対する委員からの改善提案等

5 モニタリング実施結果の概要：

① 維持管理業務（清掃、保守点検等）は適切に実施されており、安全・安心に利用できるよう引き続き適切な維持管理に努め、適宜所管課へ報告・相談を行う。

② 運營業務については、展示施設や自主事業の来客を増やすため、安定的に運営できる職員配置の見直しや、利用者、県民及び観光客への周知方法等をはじめ実施内容について見直しを行う必要がある。

③ アンケートの結果、施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえた改善を図る必要がある。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る必要がある。

④ 自主事業（レストラン、売店、体験教室等）を除く収支は黒字であることから、自主事業について実施内容を見直し、収益率の改善を図る必要がある。

6 委員からの主な意見：

- ・ （施設利用者の満足度が高い中）駐車場の問題については、豊見城市と連携して解決していただきたい。
- ・ 空手体験教室については、基本的な動作だけでなく、普段空手をやっていない方たちのニーズ（護身術）を踏まえたプログラムにしていただきたい。
- ・ 地域に空手が広がっているのを感じる。地域と沖縄空手会館が連携して収入増に繋がられないか。